

平成17年度東北海区海況予報 第5号

平成18年2月21日

独立行政法人水産総合研究センター 北海道区水産研究所

東北区水産研究所

<<今後の見通し(2006年3月中旬)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、著しく南偏～かなり南偏(35°N～35°30'N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海でやや南偏で推移する。
- (3)釧路沖、常磐沖*の暖水塊は持続する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、かなり南偏(37°N～37°30'Nまで)で推移する。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(142°10'E付近まで)で推移する。

〈海況の経過(2005年11月～2006年1月)の特徴〉

- (1)近海の黒潮の北限位置は、やや南偏～著しく南偏(36°N～35°N)で推移した。
- (2)暖水塊が、釧路の南東沖合約190km、金華山沖約250kmにあった。
- (3)親潮第1分枝の張り出しは、11月～1月まで平年並(41°40'N～41°N)であった。また冷水域が三陸から常磐近海に分布した。
- (4)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、11月から1月は平年並であった。
- (5)表面水温は、11月～12月まで北海道東方で平年より高めであったが、1月には三陸沿岸を中心にして1～2°低くなった。

〈現況(2006年1月下旬～2月中旬)の特徴〉

- (1)近海の黒潮の北限位置は、著しく南偏(35°N)している。
- (2)釧路南東沖、常磐沖*の暖水塊は停滞している。
- (3)親潮第1分枝の張り出しは、やや南偏している(37°50'N)。
- (4)常磐北部沖合に親潮第1分枝から連なる冷水域がある。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並である(142°30'E)。
- (6)表面水温は、三陸沿岸から沖合にかけて2～3°低くなっている。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以东を表す。

* 表面水温・人工衛星情報による